

公共事業環境配慮書(案)

|   |   |
|---|---|
| 事業名称  |   |
| 事業名   | 西天竜発電所大規模改修事業   |
| 整理番号  | 28-5  |
| 事業の種類   | 水力発電所の建設  |
| 市町村名  | 伊那市   |
| 箇所名   | 小沢  |
| 事業年度  | 平成28～31年度   |
| 事業概要  |   |
| 目的  | 西天竜発電所の老朽化による設備更新   |
| 計画概要(延長・幅員・面積・工種など)                                 | 発電出力2,860kW 発電所建屋面積B16.0m×W26.4m 水圧管φ 1.8m、L=166.28m 屋外変電設備更新工 小沢川取水施設撤去工   |
| 関連する事業計画  | 特になし  |
| その他特記事項   | 特になし  |
| 関係法令等の規制  |   |
| 自然環境保全地域等の指定状況                                      | なし  |
| 土地利用規制の状況   | 河川法の河川区域または河川保全区域<br>文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地   |
| その他   | なし  |
| 社会的要素 <span style="float: right;">留意すべき地域の概況</span> |   |
| 交通の現況   | ・発電所前の道路は、県道443号線(内ノ萱伊那線)である。<br>・発電所前の道路の交通量は500台/日未満である。  |
| 土地利用の現況   | 市街地である  |
| 生活関連施設の現況   | 周辺に住居が集合している  |
| その他   | 特になし  |
| 自然的環境要素 <span style="float: right;">環境配慮の方針</span>  |   |
| 大気環境  | 留意すべき地域の概況 生活関連施設がある<br><b>【大気汚染の防止】</b><br>・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。<br>・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。<br>・排出ガス対策型の車両や建設機械を採用する。<br><b>【騒音、振動の防止】</b><br>・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。<br>・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。<br>・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。<br><b>【悪臭の防止】</b><br>・想定される影響はない。 |
| 水環境   | 留意すべき地域の概況 河川・湖沼がある<br><b>【水質汚濁の防止】</b><br>・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。<br>・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。<br><b>【水循環の保全】</b><br>・掘削や地下水構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。<br>・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。  |
| 地形・地質   | 留意すべき地域の概況 特になし<br><b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b><br>・想定される影響はない。<br><b>【改変面積の最小化】</b><br>・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。<br>・段階的に工事を行い、広範囲な裸地の出現を防止する。<br>・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。<br>・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。  |
| 野生動植物   | 留意すべき地域の概況 特になし<br><b>【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】</b><br>・想定される影響はない。<br><b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b><br>・想定される影響はない。<br><b>【動物の繁殖期における影響の低減】</b><br>・想定される影響はない。<br><b>【地域独自の生物多様性の保全】</b><br>・想定される影響はない。<br><b>【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】</b><br>・想定される影響はない。                                      |

|                           |   |                |
|---------------------------|---|----------------|
| 景観                        | 留意すべき地域の概況  | 特になし           |
|                           | 【すぐれた景観の保全】   |                |
|                           | ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。                                   |                |
| 自然とのふれあい                  | 留意すべき地域の概況  | 特になし           |
|                           | 【自然とのふれあいの場への立地の回避】   |                |
|                           | ・想定される影響はない。  |                |
| 文化財等                      | 留意すべき地域の概況  | 周知の埋蔵文化財包蔵地がある |
|                           | 【文化財等への配慮】  |                |
|                           | ・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。 |                |
| 廃棄物・<br>建設残土              | 【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】   |                |
|                           | ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。  |                |
|                           | 【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】  |                |
|                           | ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。                                   |                |
|                           | 【資源の有効利用】   |                |
| 省資源・<br>省エネルギー・<br>温室効果ガス | 【環境への負荷の少ない機械の利用等】  |                |
|                           | ・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。  |                |
|                           | ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。                                      |                |
|                           | ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。  |                |
|                           | 【エネルギーの有効利用】  |                |
| 日照障害・<br>電波障害・<br>光害      | 【日照障害への配慮】  |                |
|                           | ・想定される影響はない。  |                |
|                           | 【電波障害への配慮】  |                |
|                           | ・想定される影響はない。  |                |
|                           | 【光害への配慮】  |                |
| ・想定される影響はない。              |   |                |